

事務事業評価シート

(平成 26 年度実施事業)

事務事業名	平成市民の森整備事業			事業コード	0665
所属コード	142000	課等名	農林部 林政課	係名	森林管理係
課長名	高橋 山雄	担当者名	及川 渉	内線番号	6057
評価分類	☒ 一般 ☐ 公の施設 ☐ 大規模公共事業 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				

1 事務事業の基本情報・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 概要（旧総合計画体系における位置づけ）

総合計画 体系（旧）	施策の柱	活力ある産業の振興	コード	5
	施策	活力ある農林業の振興	コード	1
	基本事業	生産意欲と技術の向上	コード	1
予算費目名 (H26)	一般会計 6 款 2 項 2 目 平成市民の森整備事業（016-02）			
特記事項 (H26)				
事業期間	■ 単年度 □ 単年度繰返 □ 期間限定複数年度		開始年度	平成 9 年度
根拠法令等 (H26)				

(2) 事務事業の概要

城下もりおか 400 周年記念事業として取得した平成市民の森を、未来の盛岡市民に贈る記念の森として整備し造成するもの。

(3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

城下もりおか 400 周年記念事業の一環として取得した平成市民の森の整備を行い、未来の盛岡市民に贈る記念の森を造成することとなった。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

平成市民の森をグリーンツーリズムで活用する動きがあり、今後、都市住民の自然のふれあいの場としてさらに機能していくと考えられる。

2 事務事業の実施状況（Do）・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 対象（誰が、何が対象か）

平成市民の森整備

(2) 対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 見込み	26 年度 実績
A 整備計画面積	ha	9.45	9.45	9.45	9.45	9.45
B						

平成市民の森の造成、整備

指標項目	單位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 目標値	26 年度 実績
A 整備面積	ha	9.45	9.45	9.45	9.45	9.45
B						

快適な市民生活に欠くことのできない森林資源を健全な状態で後世に引き継ぐ事を目的とし、市民とともに平成市民の森の造成を行う。100年後の市民に平成市民の森を贈り、森林の重要性について理解を深めてもらい、林業関係者の意欲増進と一般市民の方の林業に対する理解を深めてもらう。

指標項目	性格	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 目標値	26 年度 実績
A 整備実施率	☐ 上げる ☐ 下げる ☒ 維持	%	100	100	100	100	100
B	☐ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持						

項目	財源内訳	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 計画	26 年度 実績
事業費	①国	千円					
	②県	千円					
	③地方債	千円					
	④一般財源	千円	977	1099	1057	1113	1081
	⑤その他()	千円					
	A 小計 ①～⑤	千円	977	1099	1057	1113	1081
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	350	350	350	350	350
	B 職員人件費 ⑥×4,000 円	千円	1400	1400	1400	1400	1400
計	トータルコスト A+B	千円	2377	2499	2457	2513	2481
備考							

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価 (評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要)

① 施策体系との整合性

平成市民の森の利用を促進することにより、森林・林業に対する理解が高まり、林業者の生産意欲の向上と生産活動の活性化につながる。

② 市の関与の妥当性

城下もりおか 400 周年記念事業の一環で 100 年後の市民に広葉樹の森を贈るというコンセプトであり、市の企画で実施してきたものであるため、引き続き市が継続して行うべき事業である。

③ 対象の妥当性

平成市民の森全体を保育・整備しているため、整備面積の拡大や縮小はできない。

④ 廃止・休止の影響

100 年後の市民に贈る大径樹が育たないばかりでなく、森林が荒廃し土砂災害などが懸念され、市民のいこいの場としての機能が失われる。

(2) 有効性評価 (成果の向上余地)

平成市民の森全体への植栽が完了し、過去に植栽した樹木も生長してきていることから、市民に対してイベント等を開催し広く周知することで、市内の林業関係者はもちろんのこと、他市町村の林業関係者にも興味を持っていただく。

(3) 公平性評価 (評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要)

平成市民の森は通年、無料で市民開放しており、いつでも誰でも訪れることができる。

(4) 効率性評価

現在でも縮小した予算の範囲内で整備しており、これ以上の削減は整備が行き届かないこととなる可能性がある。

4 事務事業の改革案 (Plan)

(1) 概要 (新しい総合計画体系における位置付け)

総合計画 体系 (新)	施策 (方針)	農林業の振興	コード	21
	小施策 (推進項目)	経営力・生産意欲の向上と後継者の育成	コード	1

(2) 改革改善の方向性

市民を対象としたイベントの開催や広報媒体を利用した宣伝、また、ベンチや雨天時等に利用できる東屋等の新たな施設整備により、利用の促進を図る必要がある。

(3) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

イベントの開催や施設整備には新たなコストや人件費がかかるため、予算の確保が必要となる。

5 課長意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 今後の方向性

- ☐ 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- ☒ 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- ☐ 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

城下もりおか 400 年記念事業で整備した「平成市民の森」において、平成 11 年から 17 年まで市民植樹祭を実施したが、その後、実施されていないため、せっかくの「平成市民の森」の認知度が落ちていると思われる。

本事業地は、ほとんど広葉樹の植栽が中心で、珍しい事業地なので、今後、周知を行って、市民による活用を図りたい。